

令和 8 年度 第 1 回学校運営協議会 会議記録

日 付： 令和 8 年 5 月 7 日（木）

場 所： 清水東高等学校 大会議室

出席者：《委員》A 委員、B 委員、C 委員、D 委員、E 委員、F 委員、
《学校》校長、副校長、教頭（全日制）、教務主任（定時制）、事務長

1. 開会・校長挨拶

- ・ 令和 8 年度第 1 回学校運営協議会の開催を宣言
- ・ 委員の委嘱 → 各委員の委嘱状の確認
- ・ 今年度入学生 272 人（定員割れ） → 来年度入試に向けて募集改善（広報の工夫等）
- ・ 部活動 → インターハイ地区予選の状況等
- ・ 学校運営協議会の位置 → 学校運営に関する基本的方針の承認、学校運営等に関する意見の申出等
- ・ 本日の主議題は「令和 8 年度学校経営計画書」の承認
- ・ 今年度第 3 回委員会で、令和 9 年度学校経営計画書の柱を提示予定

2. 委員自己紹介（全出席者）

- ・ 新任委員および継続委員による自己紹介
（自己紹介の中で、①（C 委員）定員割れへの対策 ②（D 委員）夏休み着工予定の人工芝によるブランディング ③（F 委員）他校を招いての練習試合でのマナー 等への意見あり）
- ・ 学校関係者自己紹介

3. 学校運営協議会 会長及び副会長の選任

- ・ 「学校運営協議会の設置等に関する規則」第 14 条に従い、委員の互選により選任
- ・ A 委員が会長、B 委員が副会長に選任

4. 令和 8 年度学校経営計画書（全日制および定時制）の説明（校長）

- ・ 全日制および定時制の学校経営計画書案について説明
- ・ 【全日制】 以下の変更等について説明
 - ①自転車法改正の指導の明文化
 - ②学びの継続（教務面談、遠隔授業等）
 - ③「学校生活に満足」「グループ学習に積極的」「SSH 活動は有意義」等の割合を 90%に
 - ④台湾修学旅行でのポスターセッション
 - ⑤広報に SNS 活用
 - ⑥残留職員の固定化を防ぐ
 - ⑦総務事務集中化に係る職員 1 人減への対応
- ・ 【定時制】 以下についての説明等
 - ①いじめを根絶する
 - ②ソーシャルスキルトレーニングによる資質・能力の育成

③清高ライト（インターンシップ）によるキャリア教育の充実

《質疑応答・意見交換》

- ・ A 会長より：「不本意な転退学」をする生徒の人数・状況等の質問。
- ・ 学校側：「毎年数人はいる。いろいろな事情があると思われる」旨回答。
- ・ C 委員より：自転車ヘルメット着用の状況、着用義務化への動きについて質問。
- ・ 学校側：「今年度 1 年生から所持については義務化している。前向きに着用するように指導している。全体では 20%を超える生徒が着用、1 年生は 47%くらい着用している」旨回答。
- ・ A 会長より：全日制学校経営計画書で、複数項目で目標数値が 90%になっているが、生徒は多様だと思うので、観点からすると、高すぎるのではという意見。
- ・ 学校側：「昨年度の達成率が 80%であり、90%にしても十分達成できる目標と判断した」旨回答。
- ・ E 委員より：「(定員割れの状況について) 昔と比べて清水東高校の魅力がなくなったとは全く思わないが、今の中学生の意識として何かあるのか」という質問。
- ・ 学校側：「私立高校の授業料無償化の影響で、他校にチャレンジしようという生徒がいた可能性がある」「清水東高校の魅力が十分に発信できていなかった」旨回答。
- ・ A 会長より：学校経営計画書中の「定員充足率」という指標の有無についての質問。
- ・ 学校側：「(全日制) 本校には必要ないと考えていた。今後の状況で検討もする」「(定時制) 公立高校の定員の置き方が 40 の倍数と決まっているので、定員を充足することが最大の目的ではない」旨回答。

※全日制および定時制の学校経営計画書案について、委員の承認を得た。

5. 全日制および定時制の学校概況、事業等報告

【全日制】

- ・ R7 学校関係者評価実施報告書、R7 卒業生進路状況、R8 不祥事根絶取組計画書、R8 いじめ対策年間計画、R8 年間行事予定表について、副校長から説明
- ・ R7 後半の部活動実績、新聞記事等について、教頭から説明

【定時制】

- ・ R7 学校関係者評価実施報告書、R7 卒業生進路状況、R8 不祥事根絶取組計画書、R8 いじめ対策年間計画、R8 年間行事予定表、部活動の状況について、教務主任から説明

《質疑応答・意見交換》

- ・ E 委員より：・「SNS 等での不確実な噂の影響は心配である。受検でも『ダメもとでいいからチャレンジしよう』などと広がってはいまいか」という懸念。
・ 県外遠征でのバス事故を受けて、清水東高校のバス運行状況についての質問。
- ・ 学校側：「基本的に業者に任せる。マイクロバスの場合は教員は運転せず、運転できる方を頼む。生徒各自で現地集合する部活動もある」旨回答。
- ・ C 委員より：部活動の中で、保護者の配車当番等あることへの懸念。
- ・ A 会長より：有権者教育の実施状況についての質問。
- ・ 学校側：「模擬投票」など実施状況について回答。
- ・ B 副会長より：・「中学校でも投票箱等を借りて実施している」旨紹介。

- ・不登校問題について SC、SSW の活用の必要性について意見。
- ・清水ロータリークラブの例のように、生徒が外部とつながり、社会性を身につけていくことの必要性についての意見。
- ・A 会長より：ネットリテラシー教育についての質問。
- ・学校側：警察実施の SNS 講座、終業式時の講話、情報・家庭の授業等での実施 等について説明。
- ・C 委員より：「清水東高校公式で、新聞部等が SNS で情報を発信するのは難しいか。人口芝などハード面が整う中で、ソフト面でのよさも出して欲しい」という質問・要望。
- ・学校側：学校ホームページの更新をどんどん進め、その他 SNS の発信も検討したい」旨回答。
- ・A 会長より：「中学生・保護者が『公立高校が不合格でも、私立に行けばいい』と思っていることが出願状況に影響しているのでは」「公立学校のライバルは、他の公立学校ではなく私立であるのかも」「競争倍率が高くとも、そのまま難関の公立を受けさせた保護者の考えが知りたい」「静岡市内は中学生数に比べて、公私の進学校・進学コースが多すぎるのかも」「清水東高校は、どのあたりから生徒が来ているのか」などの質問・意見。
- ・学校側：「公立高校の数については、教育委員会でも分析を行っている」旨回答

6. 校長お礼

- ・練習試合でのマナーの件については、すぐに対応する。
- ・本校の募集関係の議論・御意見について、本当に参考になった。SNS 等は、生徒の写真撮影が難しくなっている事情はあるが、若い教員を巻き込んで進めていきたい。

7. 諸連絡・閉会

- ・議事録を確認後、学校ホームページに掲載する。
- ・次回（第 2 回）学校運営協議会は 9 月～11 月を予定。授業参観（全日・定時）および中間報告を行う。
- ・第 3 回は 1 月～2 月。学校経営計画書についての評価を行う。